

第2章 柳井市における地域福祉を取り巻く現状

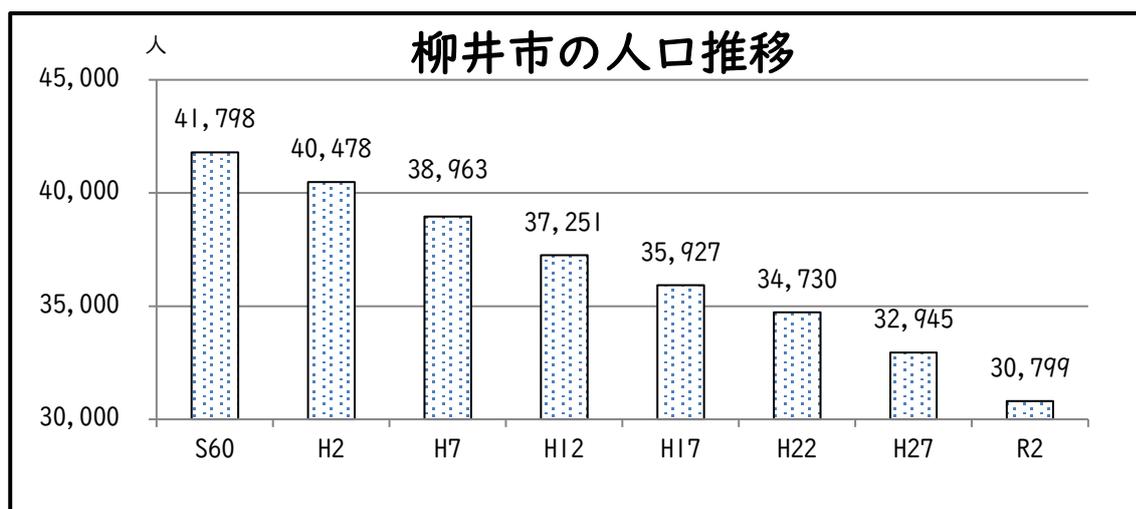
1 本市の状況

(1) 人口・世帯の状況

①人口の推移

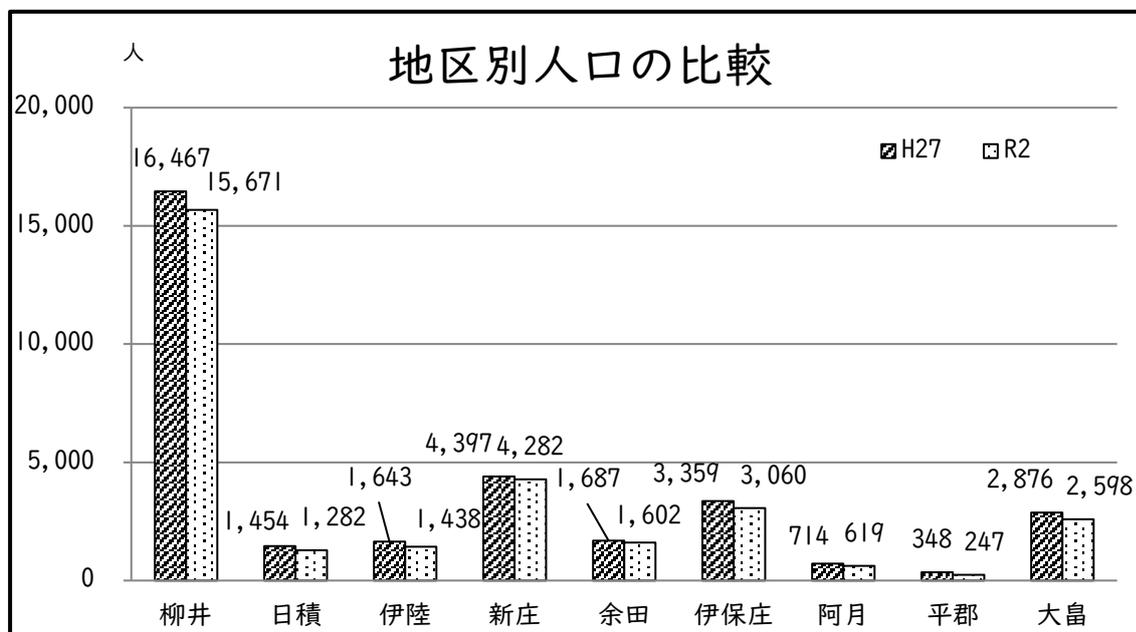
本市の人口は、令和2年の国勢調査では30,799人となり、前回の平成27年と比べ2,146人(6.5%)減少しています。

地区別でも、全ての地区で人口が減少しています。



※平成12年以前は、旧柳井市、旧大島町の合計

(国勢調査)



(国勢調査)

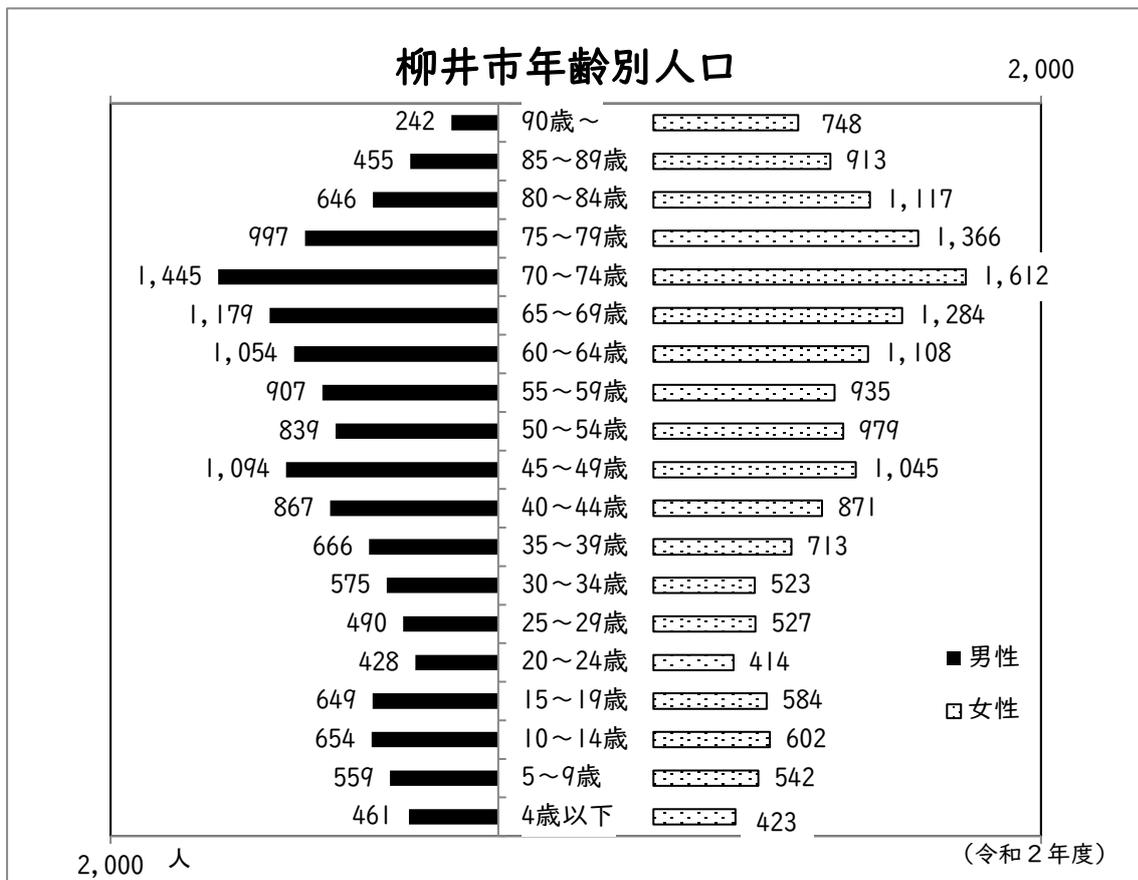
(単位：人)

| | 総数 | | 柳井 | | 日積 | | 伊陸 | | 新庄 | |
|-------|--------|--------|-------|--------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|
| | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 |
| 平成27年 | 14,170 | 32,945 | 7,353 | 16,467 | 602 | 1,454 | 685 | 1,643 | 1,860 | 4,397 |
| 令和2年 | 13,932 | 30,799 | 7,277 | 15,671 | 564 | 1,282 | 660 | 1,438 | 1,933 | 4,282 |
| | 余田 | | 伊保庄 | | 阿月 | | 平郡 | | 大島 | |
| | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 | 世帯数 | 世帯人員 |
| 平成27年 | 565 | 1,687 | 1,286 | 3,359 | 322 | 714 | 219 | 348 | 1,279 | 2,876 |
| 令和2年 | 566 | 1,602 | 1,246 | 3,060 | 300 | 619 | 166 | 247 | 1,220 | 2,598 |

(国勢調査)

②年齢別人口

本市の年齢別人口をみると、団塊の世代といわれる70歳から74歳が最も多くなっています。また、45歳から49歳の人口も前後の世代に比べて多い年代となっています。一方、進学・就職で移動のある20歳から24歳が最も少なくなっています。

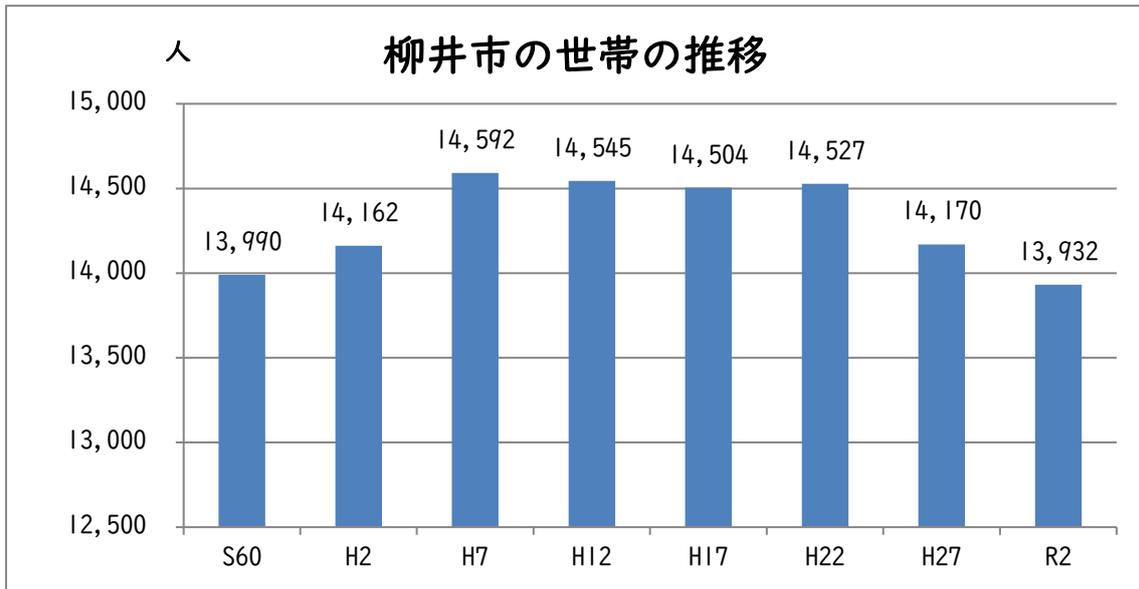


(国勢調査)

③世帯数の推移

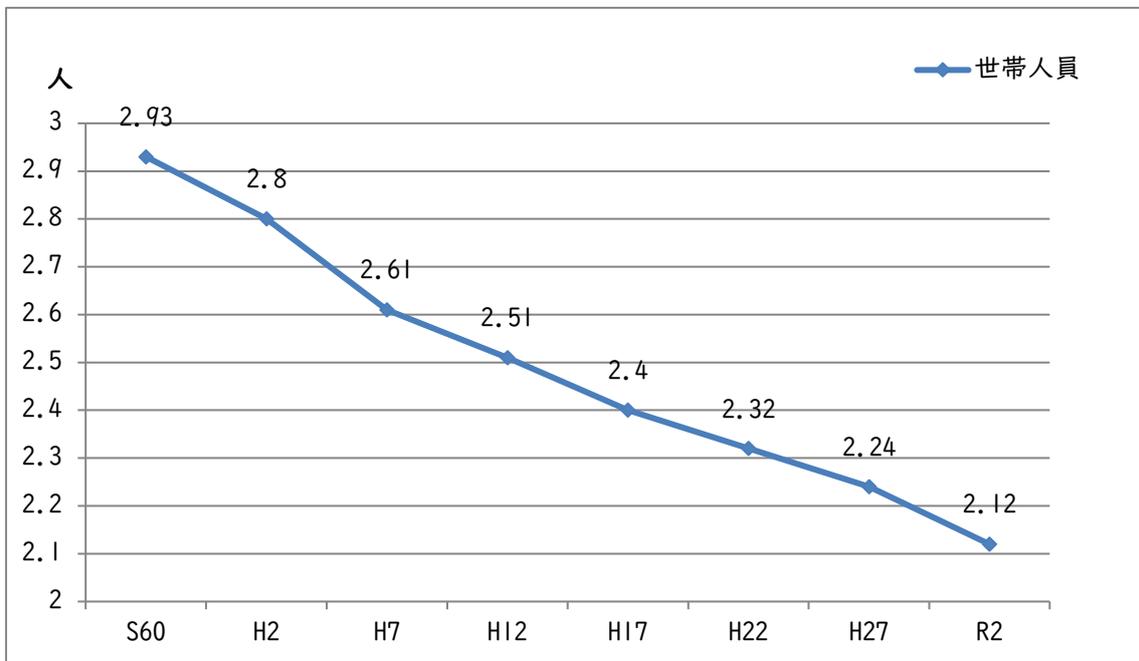
令和2年の国勢調査では、13,932世帯となっており、平成27年の調査から238世帯（1.7%）減少しています。平成27年度の調査以降、減少傾向にあります。

世帯人員は、昭和60年には2.93人でしたが、令和2年には2.12人となり減少し続けています。



※平成12年以前は、旧柳井市、旧大畠町の合計

(国勢調査)



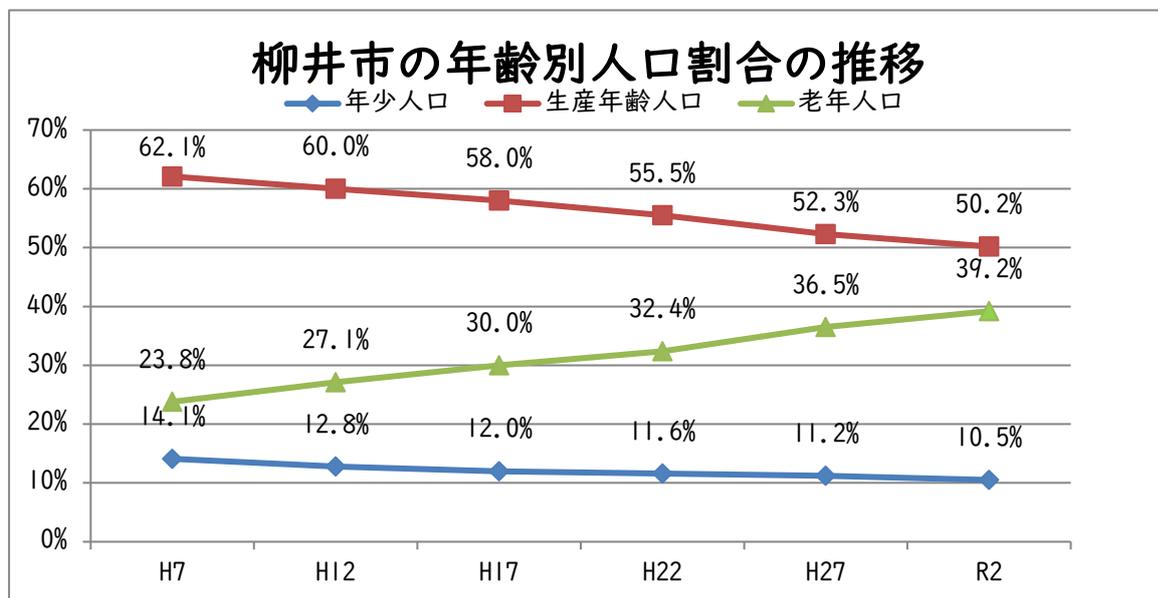
※平成12年以前は、旧柳井市と旧大畠町を合算した割合

(国勢調査)

(2) 少子化・高齢化の状況

①年齢別人口の割合

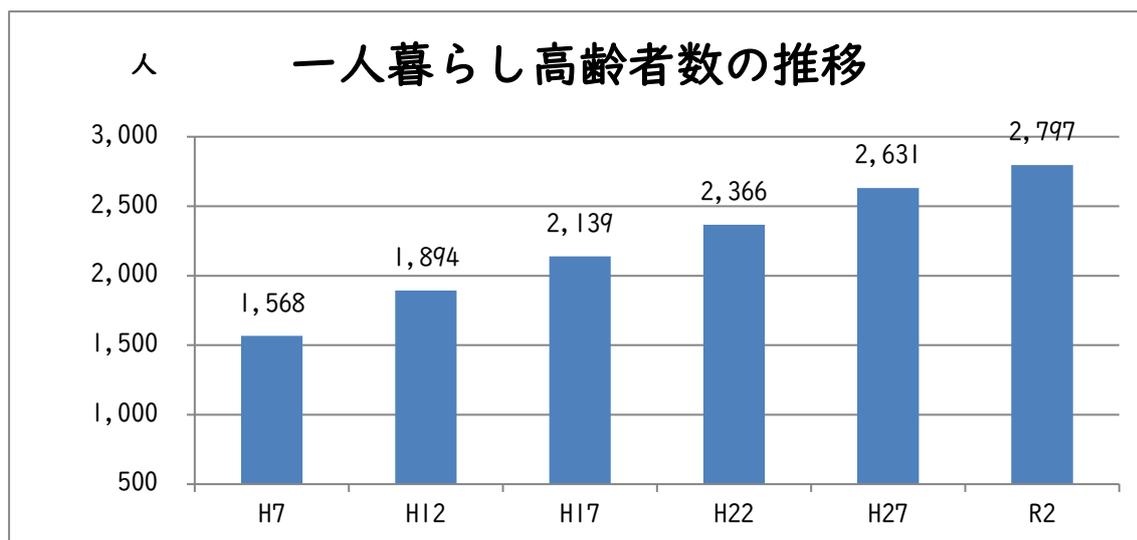
年齢別の人口をみると、15歳未満の年少人口の割合が減少し続けており、令和2年の国勢調査では、全人口の10.5%となっています。一方、65歳以上の老年人口の割合は増加しており、全人口の39.2%となっています。



※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）（国勢調査）
 ※平成12年以前は、旧柳井市と旧大畠町を合算した数

②一人暮らし高齢者の推移

高齢者の増加に伴い、65歳以上の一人暮らし高齢者は、令和2年の国勢調査では2,797人と前回調査の平成27年と比べ166人の増加となっています。



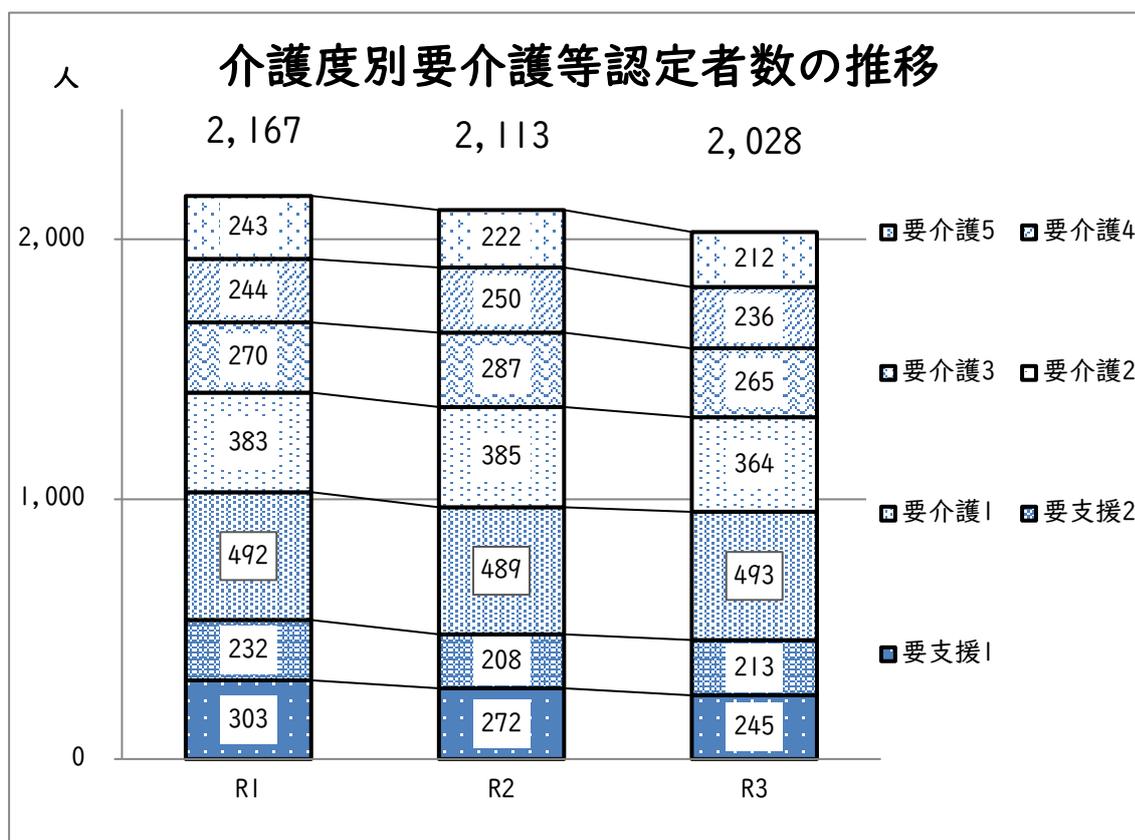
※平成12年以前は、旧柳井市、旧大畠町の合計（国勢調査）

(3) 高齢者の状況

① 要支援・要介護認定者数

平成12年度の介護保険制度開始以降、要支援・要介護認定者数は年々増加していましたが、平成28年度からは減少傾向で推移しています。令和7年度以降は、高齢者に占める75歳以上の割合が増加するため増加すると見込まれます。

介護保険制度は、平成30年度に制度の見直しが行われ、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続性を確保するための改正が行われました。



(介護保険事業状況報告月報)

② 一人暮らし等高齢者の状況

令和2年度高齢者保健福祉実態調査によると、一人暮らしの高齢者は2,179人となっています。

| | 一人暮らし | 75歳以上二人暮らし |
|-------|--------|------------|
| 令和2年度 | 2,179人 | 680世帯 |

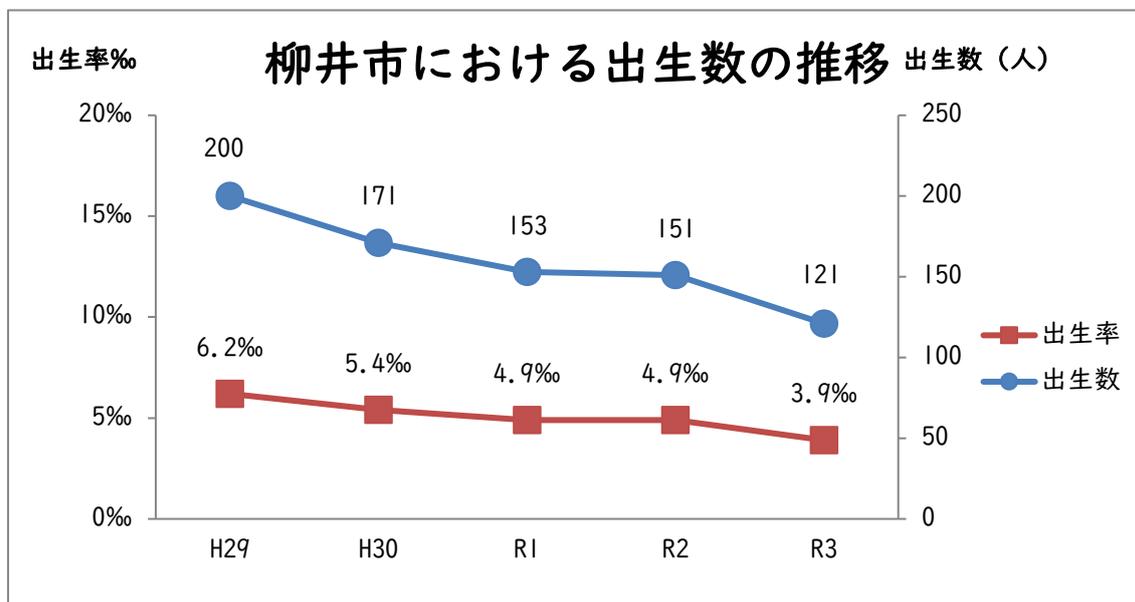
(高齢者保健福祉実態調査)

※令和3年度は中止

(4) 出生・児童・生徒の状況

①出生の動向

平成29年の出生数は200人でしたが、令和3年には121人となっています。出生率は6‰前半から4‰後半で推移していましたが、令和3年は3‰後半に低下しています。婚姻率の低下、未婚率の上昇などで少子化が進んでいます。



(山口県人口移動統計調査)

②保育所の状況

令和4年4月1日現在、保育所数は、私立9か所、公立2か所の11か所(園)で入所定員690人に対し、児童数は674人となっています。

③幼稚園の状況

令和4年4月1日現在、幼稚園数は、私立2園で入所定員105人に対し、園児数は85人となっています。

④小学校

令和4年5月1日現在、小学校数は、10校で児童数は1,298人となっています。平成29年の1,491人と比較すると、5年間で193人の減少となっています。

また、9校で特別支援学級を設置しています。

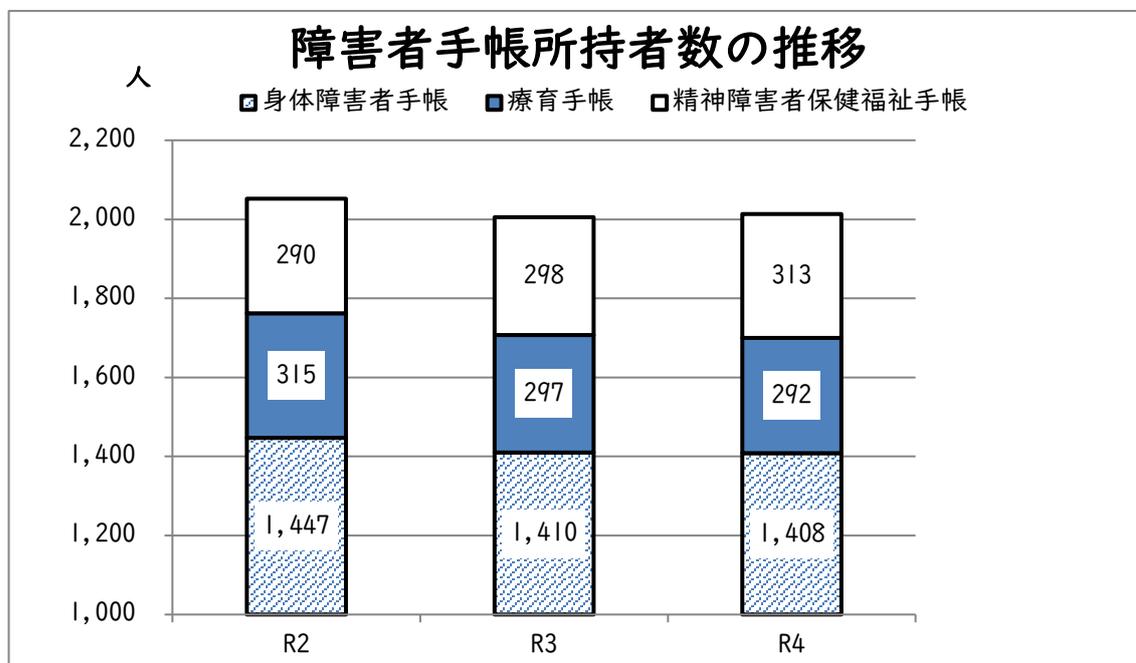
⑤中学校

令和4年5月1日現在、中学校数は、3校で生徒数は737人となっています。平成29年の794人と比較すると、5年間で57人の減少となっています。

また、3校で特別支援学級を設置しています。

(5) 障がい者（児）の状況

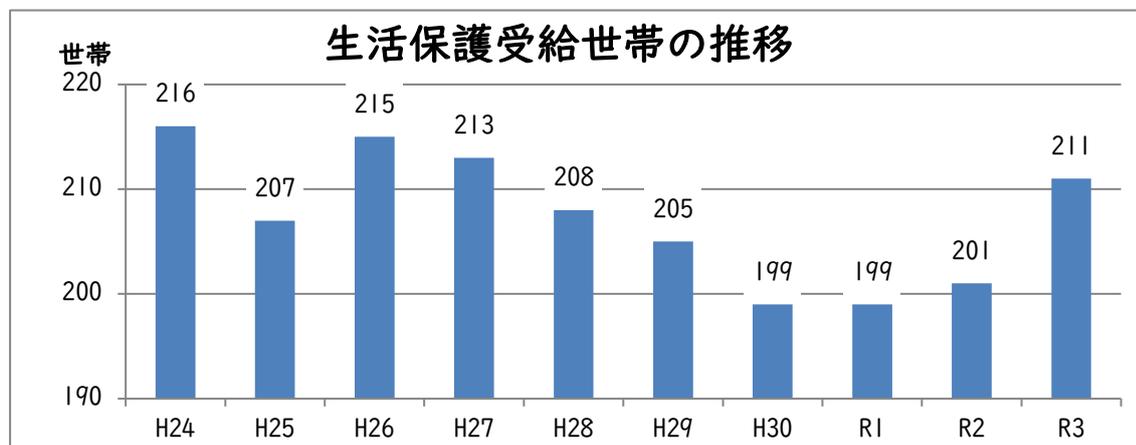
令和4年4月1日における身体障害者手帳所持者数は1,408人、療育手帳所持者数は292人、精神障害者保健福祉手帳所持者数は313人となっています。



(6) その他支援を要する人々の状況

①生活保護世帯の状況

生活保護法に基づく生活保護を受給した人は、令和3年度では211世帯、248人となっています。受給世帯の内訳は、高齢者世帯67.6%、障がい・傷病者世帯23.8%の順となっています。また、総人口に占める割合は8.1%となっています。



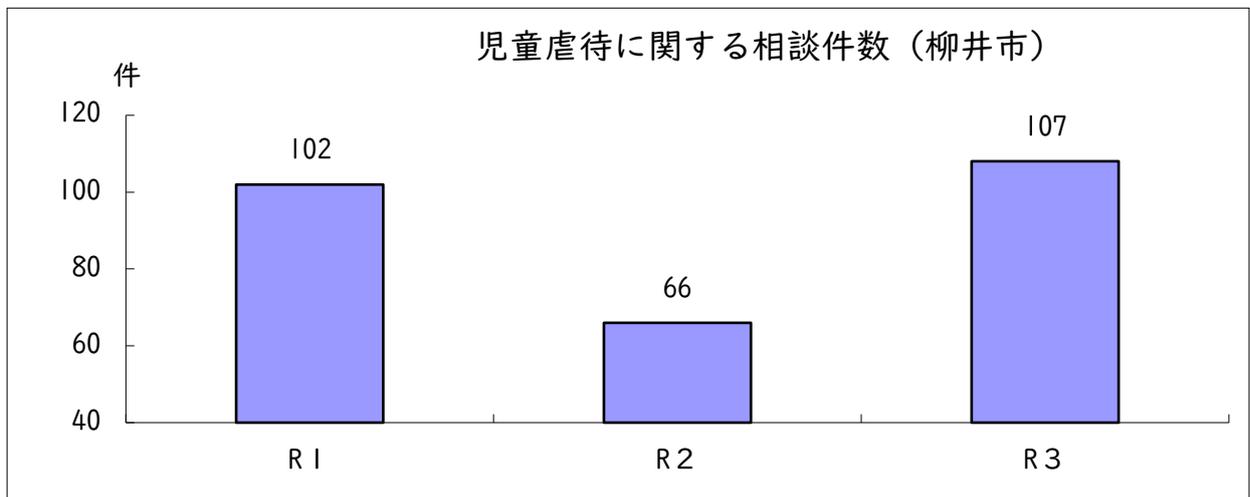
②生活困窮者への支援

平成27年に生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者への自立相談支援と住居確保給付金制度が開始されました。

| | 令和2年 | 令和3年 |
|----------|------|------|
| 自立相談支援事業 | 79件 | 60件 |
| 住居確保給付金 | 2件 | 2件 |

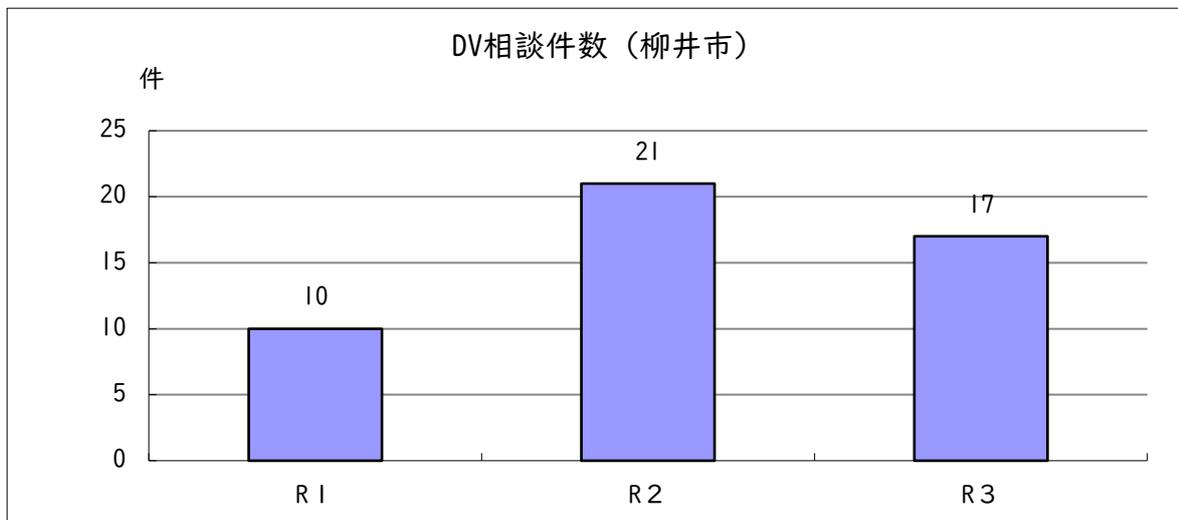
③児童虐待に係る相談件数

本市では、こどもサポート課内に家庭児童相談員を配置し、家庭や児童に係る相談を受け付けています。このうち児童虐待に関する令和3年度の相談件数は、107件となっています。



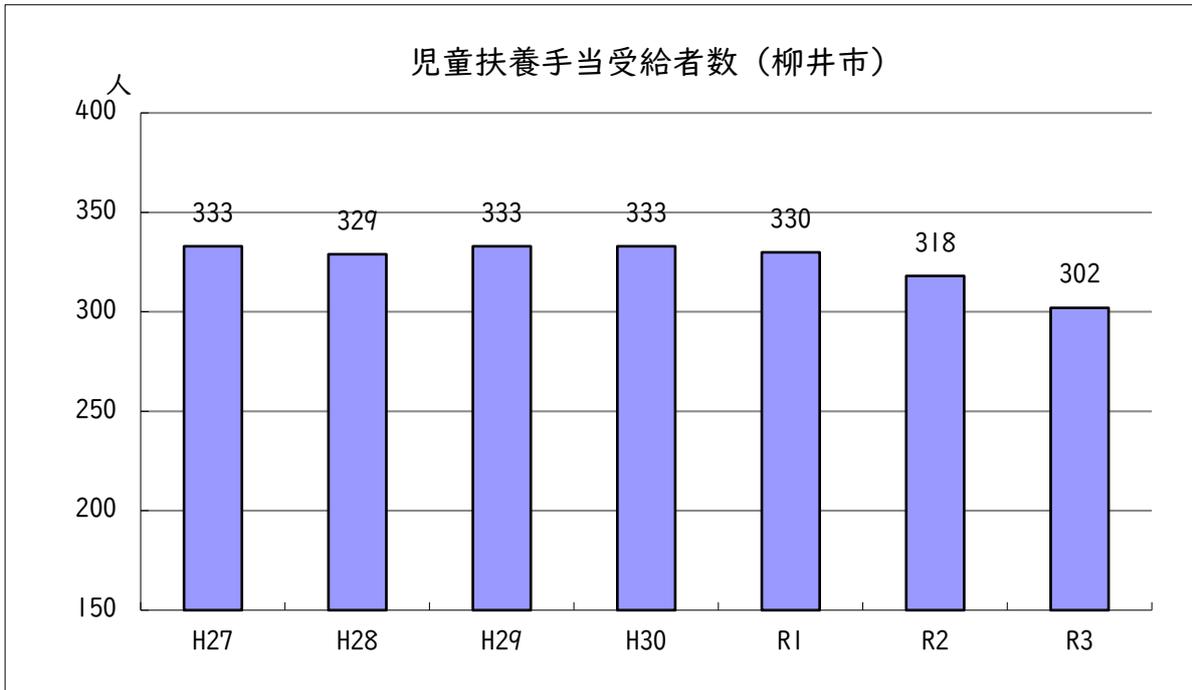
④配偶者からの暴力（DV）相談件数

本市のDVに関する令和3年度の相談件数は、17件となっています。



⑤児童扶養手当受給者数

ひとり親家庭等の生活安定を目的に児童扶養手当を支給しています。
令和3年度は302人が受給しており、受給者数は、減少傾向にあります。



(7) 地域における人的・社会的資源の状況

①人的・物的資源

(令和4年4月1日現在)

| 地区 | 介護保険施設 | 介護サービス事業所 | 小・中学校 | 保育所 幼稚園 子育て支援センター | 公民館 | 医療機関数 | 民生委員・児童委員数 | 福祉員数 | 老人クラブ数 | 自治会数 |
|-------|--------|-----------|-------|-------------------------|-----|-------|------------|------|--------|------|
| 柳井地区 | 0 | 32 | 4 | 10 | 1 | 27 | 37 | 197 | 5 | 82 |
| 日積地区 | 1 | 6 | 1 | 2 | 1 | 0 | 9 | 28 | 2 | 33 |
| 伊陸地区 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 10 | 25 | 5 | 22 |
| 新庄地区 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 10 | 50 | 4 | 41 |
| 余田地区 | 2 | 8 | 2 | 1 | 1 | 1 | 6 | 16 | 0 | 19 |
| 伊保庄地区 | 2 | 13 | 2 | 2 | 1 | 1 | 11 | 40 | 3 | 42 |
| 阿月地区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 6 | 18 | 2 | 18 |
| 平郡東地区 | 0 | 1 | ※1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 5 | 0 | 15 |
| 平郡西地区 | 0 | 0 | ※1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 |
| 大島地区 | 1 | 5 | 2 | 2 | 1 | 1 | 14 | 60 | 7 | 39 |

※休校

② ボランティア団体

柳井市ボランティアグループ連絡協議会登録団体 (令和4年4月1日現在)

| | |
|-------------|--|
| 地域福祉活動 | 日積老人給食ボランティアグループ、柳井中央老人給食ボランティアグループ、きさらぎ会、余田地区福祉員クラブ、さざ波会、かすみ会、大畠うずしお会、平郡東ボランティア婦人会、伊保庄婦人会、柳井市連合婦人会、柳井市更生保護女性会、国際ソロプチミスト柳井、柳井市老人クラブ連合会、柳井市民生児童委員協議会、柳井地区福祉員協議会、「小さな親切運動」柳井支部、柳井ライオンズクラブ、柳井中央ライオンズクラブ、柳井西ロータリークラブ |
| 施設・病院活動 | たんぼぼの会、柳井市社会福祉協議会 OB 会 |
| 障がい者（児）福祉活動 | 柳井手話グループサルビアの会、特定非営利法人一粒の麦、音訳しらかべの会 |
| 学生ボランティア | 柳井学園高等学校レオクラブ、柳井商工高等学校インターアクトクラブ |
| 文化活動 | 創作舞踊管源流、椿の会、こちゃママ、伝統文化を守る会 |
| 環境美化活動 | 柳美実践クラブ、I LOVE 阿月 |

③ シルバー人材センター

柳井広域シルバー人材センター登録者数

| | |
|-------|----------------------|
| 令和3年度 | 359人 (男：239人 女：120人) |
| 実施事業 | 請負事業・派遣事業・有料職業紹介 |

④ 老人クラブ

老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動を支援し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進しています。

加入率は6.41%と低く、加入の促進を図る必要があります。

| | |
|----------|------|
| 令和3年度 | |
| 単位老人クラブ数 | 総会員数 |
| 31団体 | 903人 |

2 地域における福祉サービスの提供や利用の状況

(1) 総合的な福祉サービスの種類と量

①ふれあいいいきサロンの設置数

高齢者の地域での孤立や閉じこもりの防止、健康・生きがいづくりなどを目的に、ごく身近な地域を拠点として、ボランティアや地区住民などが企画・運営し、地域の仲間づくり、交流の場づくりなどを行っています。

| | |
|------------|------|
| 令和3年度 | |
| 市社会福祉協議会事業 | 32か所 |

②相談窓口の整備数、相談件数

| 令和3年度 | | | |
|-----------------------|----------------------|-----|--------|
| 相談窓口 | 事業名 | 開催数 | 相談件数 |
| 市社会福祉協議会 | 心配ごと相談事業 | 12回 | 0件 |
| | 福祉無料法律相談所 | 12回 | 43件 |
| 相談支援事業所 (3か所) | 相談支援事業(障がい者(児)の相談支援) | 随時 | 3,391件 |
| こどもサポート課 (家庭児童相談室) | 家庭児童相談事業 | 随時 | 107件 |
| 保健センター | 母子保健相談事業 | 随時 | 1,577件 |
| 地域包括支援センター | 高齢者総合相談事業 | 随時 | 750件 |
| 市民生活課 | 行政相談・市民相談 | 12回 | 14件 |
| | 行政相談(大島出張所) | 12回 | 0件 |
| | 無料法律相談 | 12回 | 80件 |
| | 年金相談(岩国年金事務所) | 24回 | 458件 |
| 人権啓発室 | 人権相談 | 6回 | 1件 |
| こどもサポート課 (母子自立支援員) | 母子福祉事業 | 随時 | 1,554件 |
| 政策企画課 | 配偶者からの暴力(DV)相談 | 随時 | 17件 |

③民生委員・児童委員の相談活動件数

相談支援活動状況（令和3年度）

（単位：件）

| | 高齢者に 関すること | 障がい者に 関すること | 子どもに 関すること | その他 | 計 |
|----------------|---------------|----------------|---------------|-----|-------|
| 民生委員・ 児童委員 | 1,741 | 109 | 1,108 | 335 | 3,293 |
| 主任児童委員 （再掲） | 50 | 0 | 272 | 2 | 324 |

その他の活動状況（令和3年度）

（単位：件）

| | 地域福祉活動 | 民協会議・研修 | その他 | 計 |
|----------------|--------|---------|-------|-------|
| 民生委員・ 児童委員 | 3,375 | 1,233 | 2,053 | 6,661 |
| 主任児童委員 （再掲） | 316 | 102 | 108 | 526 |

④地域福祉権利擁護事業実利用者数

認知症の高齢者や、障がい者等で判断能力や日常生活に不安がある人を対象に実施しています。

（令和3年度）

| | |
|-------|--------|
| 実利用者数 | 1,781人 |
|-------|--------|

⑤ボランティア講習会等参加者数

（令和3年度）

| 講座名 | 回数 | 参加者数（実人数） |
|------------|----|-----------|
| ボランティア体験講座 | 1回 | 9人 |

※「サマースクール」、「ボランティアまつり」については、新型コロナ

ウイルス感染拡大防止のため開催していない。

⑥ボランティア登録団体数

（令和3年度）

| | |
|-------|------|
| 登録団体数 | 32団体 |
|-------|------|

⑦学校応援団活動（令和3年度）

登録者数は、個人113人、39団体（1,085人）となっています。

| 分野 | 主な活動 | 回数 | 述べ人数 |
|----------|------------|--------|---------|
| 教育活動支援 | 読み聞かせ・部活指導 | 791回 | 2,499回 |
| スクールガード | 交通安全指導・見守り | 2,304回 | 12,898回 |
| 食育ボランティア | 米づくり・調理指導 | 14回 | 39回 |
| 環境整備支援 | 草刈り・芝生の管理 | 446回 | 1,271回 |
| 合 計 | | 3,555回 | 16,707回 |

⑧地域組織の状況（令和3年度）

| 支援団体 | 組織数等 | 内 容 | 箇所数等 |
|-------------|--------|--------|------|
| 自治会 | 315自治会 | 自主防災組織 | 64か所 |
| 市社会福祉協議会 | 1か所 | 福祉員 | 453人 |
| 地区社会福祉協議会 | 10か所 | | |
| 地区コミュニティ協議会 | 12か所 | | |

(2) 高齢者に提供されている福祉サービスの種類と量

①介護予防・生活支援サービス事業（令和3年度）

| サービス名 | 内容 | 指定事業所数 | 件数 |
|-----------|---|--------|-------|
| 訪問型相当サービス | 身体介護を中心としたサービスを行う。 | 11 | 152 |
| 訪問型サービスA | 離島や日常生活に必要な生活支援サービスの確保が困難な地域で生活している人等に対する生活支援サービスを行う。 | 4 | 27 |
| 通所型相当サービス | デイサービスセンターで日常生活の支援や機能訓練のサービスを行う。 | 21 | 2,075 |
| 通所型サービスA | デイサービスセンターで体操やレクリエーションなどの運動を行う。 | 2 | 101 |
| 通所型サービスC | デイサービスセンターで具体的な生活動作改善の目標をたて専門職による短期集中型の支援を行う。 | 1 | 0 |

※対象者は、要支援1、2の人または事業対象者

②総合相談支援（令和3年度）

地域包括支援センター

| 相談形態別件数 | | | |
|---------|------|-----|------|
| 電話 | 来所 | 訪問 | 計 |
| 401件 | 298件 | 51件 | 750件 |

③地域見守り型配食サービス（令和3年度）

配食回数は、ふれあい型サービスは月1回、中間型サービスは月1回で、ボランティアによる安否確認やふれあいを重視した活動を行っています。

ふれあい型サービス

中間型サービス

| 地区数 | 配食回数 | 延配食数 | 地区数 | 配食回数 | 延配食数 |
|-----|------|--------|-----|------|------|
| 9地区 | 44回 | 3,004食 | 1地区 | 5回 | 476食 |

(3) 児童に提供されている福祉サービスの種類と量

①母子保健推進員活動状況（令和3年度）

| 母子保健推進員 | 家庭訪問 | 輪づくり |
|---------|------|--------|
| 23人 | 571件 | 2回：15人 |

②ファミリー・サポート・センター事業（令和3年度）

| 依頼会員 | 提供会員 | 両方会員 | 計 |
|------|------|------|------|
| 406人 | 218人 | 38人 | 662人 |

| 活動内容 | 件数 |
|---------------------------|------|
| 保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり | 1件 |
| 保育施設までの送迎 | 8件 |
| 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり | 4件 |
| 学校の放課後の子どもの預かり | 60件 |
| 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり | 2件 |
| 買物等外出の際の子どもの預かり | 10件 |
| 放課後児童クラブの送迎 | 186件 |
| 子どもの習い事等の場合の援助 | 130件 |
| 保育所、学校等休みの時の援助 | 1件 |

| | |
|----------------------|------|
| 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 | 71件 |
| その他 | 164件 |
| 計 | 637件 |

③放課後児童クラブ（令和3年度）

| | |
|----------|-------|
| 児童クラブ設置数 | 登録児童数 |
| 10か所 | 409人 |

(4) 障がい者（児）に提供されている福祉サービスの種類と量

①介護給付（令和3年度）

| サービスの種類 | 延利用者数 |
|-----------|--------|
| 居宅介護 | 579人 |
| 同行援護 | 86人 |
| 療養介護（医療費） | 168人 |
| 生活介護 | 1,079人 |
| 短期入所 | 85人 |
| 施設入所支援 | 858人 |

②訓練等給付（令和3年度）

| 福祉サービス | 延利用者数 |
|------------|-------|
| 共同生活援助 | 300人 |
| 宿泊型自立訓練 | 48人 |
| 自立訓練（機能訓練） | 20人 |
| 自立訓練（生活訓練） | 60人 |
| 就労移行支援 | 26人 |
| 就労継続支援A型 | 173人 |
| 就労継続支援B型 | 958人 |
| 就労定着支援 | 2人 |

③障害児通所支援給付（令和3年度）

| 障害児通所支援給付 | 利用者数 |
|------------|--------|
| 児童発達支援 | 514人 |
| 放課後等デイサービス | 1,438人 |
| 保育所等訪問支援 | 12人 |

④自立支援医療（令和3年度）

| 自立支援医療 | 受給者証交付 |
|--------|--------|
| 更生医療 | 154人 |
| 育成医療 | 4人 |
| 精神通院医療 | 455人 |

(5) その他支援を要する人に提供されている福祉サービスの種類と量

①産じょく期ヘルパー派遣事業（令和3年度）

| 利用実人数 | 利用回数 |
|-------|------|
| 9人 | 156回 |

②ひとり親家庭支援（令和3年度）

| サービス名 | 人数 |
|---------------|-----|
| 高等技能訓練促進費等事業 | 11人 |
| 自立支援教育訓練給付金事業 | 0人 |

※平成29年度から「日常生活支援事業」は実施していない。

令和4年度 地域福祉の推進に関するアンケート結果報告書

調査票：調査項目

- 【調査目的】 令和5年3月に策定する「第4期柳井市地域福祉計画・柳井市地域福祉活動計画」に、地域福祉の推進の主役である住民の意見を反映させること。
- 【調査対象】 柳井市在住の18歳以上の者から1,000人を無作為に抽出
- 【調査期間】 令和4年5月25日から令和4年6月24日まで

| | |
|-----------|-------|
| 調査票配布数(人) | 1,000 |
| 有効回収数(人) | 492 |
| 有効回収率(%) | 49.2 |

1 回答者自身について

問1 お住まいの地区

- 1 柳井地区 6 伊保庄地区
- 2 日積地区 7 阿月地区
- 3 伊陸地区 8 平郡地区
- 4 新庄地区 9 大畠地区
- 5 余田地区 10 無回答

| | 回答(%) | 回答数(人) | | 回答(%) | 回答数(人) |
|---|-------|--------|----|-------|--------|
| 1 | 49.6 | 244 | 6 | 6.3 | 31 |
| 2 | 4.5 | 22 | 7 | 3.3 | 16 |
| 3 | 4.5 | 22 | 8 | 0.8 | 4 |
| 4 | 16.9 | 83 | 9 | 7.5 | 37 |
| 5 | 5.3 | 26 | 10 | 1.4 | 7 |

問2 性別

- 1 男
- 2 女
- 3 その他
- 4 無回答

| | 回答(%) | 回答数(人) |
|---|-------|--------|
| 1 | 46.3 | 228 |
| 2 | 49.8 | 245 |
| 3 | 0.0 | 0 |
| 4 | 4.1 | 20 |

問3 年代

- 1 10代 6 60代
- 2 20代 7 70代
- 3 30代 8 80代
- 4 40代 9 90代以上
- 5 50代 10 無回答

| | 回答(%) | 回答数(人) | | 回答(%) | 回答数(人) |
|---|-------|--------|----|-------|--------|
| 1 | 4.7 | 23 | 6 | 16.1 | 79 |
| 2 | 8.3 | 41 | 7 | 18.1 | 89 |
| 3 | 10.0 | 49 | 8 | 12.2 | 60 |
| 4 | 12.4 | 61 | 9 | 3.0 | 15 |
| 5 | 13.4 | 66 | 10 | 2.0 | 9 |

問4 世帯

- 1 一人世帯
- 2 一世帯世帯(夫婦のみ、兄弟姉妹のみ)
- 3 二世帯世帯(親と子)
- 4 三世帯世帯(親と子と孫など)
- 5 その他
- 6 無回答

| | 回答(%) | 回答数(人) |
|---|-------|--------|
| 1 | 19.7 | 97 |
| 2 | 26.0 | 128 |
| 3 | 44.3 | 218 |
| 4 | 6.7 | 33 |
| 5 | 1.4 | 7 |
| 6 | 1.8 | 9 |

問5 現在の状況(複数回答可)

- 1 障がいや病気などで日常生活に支障がある。
- 2 日常生活に支障がある人を介護している。
- 3 乳児から小学校就学前までの幼児を育てている。
- 4 小学生、中学生の子どもを育てている。
- 5 高齢のため、自身に介護・介助が必要である。
- 6 どれもあてはまらない。

| | 回答(%) | 回答数(人) |
|---|-------|--------|
| 1 | 7.7 | 38 |
| 2 | 7.1 | 35 |
| 3 | 7.5 | 37 |
| 4 | 11.2 | 55 |
| 5 | 4.5 | 22 |
| 6 | 64.0 | 315 |

問6 現在の仕事

- 1 正社員・正職員
- 2 派遣・契約社員
- 3 パートタイム・アルバイト
- 4 内職
- 5 自営業(農業・漁業・稚園・保育所を含む)
- 6 家族従業員(家業の手伝い・薬剤師・看護師・保健師・介護福祉士等)
- 7 家事専業
- 8 学生計士・宗教家・芸術家・各種師匠等
- 9 その他
- 10 何もしていない。
- 11 無回答

| | 回答(%) | 回答数(人) |
|----|-------|--------|
| 1 | 31.1 | 153 |
| 2 | 2.2 | 11 |
| 3 | 10.4 | 51 |
| 4 | 0.4 | 2 |
| 5 | 10.2 | 50 |
| 6 | 1.6 | 8 |
| 7 | 9.6 | 47 |
| 8 | 4.7 | 23 |
| 9 | 3.0 | 15 |
| 10 | 24.8 | 122 |
| 11 | 2.0 | 10 |

- 問7** 介護・介助を必要とする高齢者や障がいのある人とのような関わりがありますか。(複数回答可)
- 1 福祉関係の仕事をしている。
 - 2 ボランティア活動に参加している。
 - 3 家族が該当者である。
 - 4 近所にいる介護・介助を必要とする高齢者や障がいのある人と接したことがある。
 - 5 その他
 - 6 特に関わりはない。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 6.5 | 32 |
| 2 | 2.0 | 10 |
| 3 | 18.9 | 93 |
| 4 | 8.5 | 42 |
| 5 | 7.3 | 36 |
| 6 | 44.3 | 218 |

- 問8** 日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じますか。(複数回答可)
- 1 自分や家族の健康のこと。
 - 2 子どもの教育や将来のこと。
 - 3 介護に関すること。
 - 4 日々の生活に関すること。
 - 5 家族間の問題のこと。
 - 6 住宅や住環境のこと。
 - 7 地震や水害などの災害のこと。
 - 8 仕事のこと(就職、失業など)。
 - 9 外出に関すること。
 - 10 自分や家族の老後のこと。
 - 11 乳幼児の育児に関すること。
 - 12 収入など経済的なこと。
 - 13 地域での人間関係のこと。
 - 14 職場での人間関係のこと。
 - 15 地域の治安のこと。
 - 16 その他
 - 17 不安はない。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 60.4 | 297 |
| 2 | 19.5 | 96 |
| 3 | 22.2 | 109 |
| 4 | 17.1 | 84 |
| 5 | 6.1 | 33 |
| 6 | 11.6 | 57 |
| 7 | 19.7 | 97 |
| 8 | 9.1 | 45 |
| 9 | 7.1 | 35 |
| 10 | 50.8 | 250 |
| 11 | 3.7 | 18 |
| 12 | 27.2 | 134 |
| 13 | 6.1 | 30 |
| 14 | 4.9 | 24 |
| 15 | 2.2 | 11 |
| 16 | 3.3 | 16 |
| 17 | 11.8 | 58 |

「自分や家族の健康のこと。」(60.4%)、「自分や家族の老後のこと。」(50.8%)の順に回答割合が高い。一方で「不安はない。」(11.8%)との回答割合は、1割となっている。

- 問9** 困りごとを誰に相談していますか。(複数回答可)
- 1 家族
 - 2 地域の自治会などのメンバー
 - 3 職場の同僚、上司
 - 4 民生委員・児童委員
 - 5 幼稚園、保育園
 - 6 介護関係者(ケアマネジャーなど)
 - 7 地域包括支援センター
 - 8 近所の人
 - 9 友人、知人
 - 10 医療関係者(主治医、看護師など)
 - 11 福祉員
 - 12 学校
 - 13 社会福祉協議会
 - 14 その他
 - 15 相談する人がいない。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 79.1 | 389 |
| 2 | 3.3 | 16 |
| 3 | 10.8 | 53 |
| 4 | 1.2 | 6 |
| 5 | 0.8 | 4 |
| 6 | 6.1 | 30 |
| 7 | 1.8 | 9 |
| 8 | 7.5 | 37 |
| 9 | 41.3 | 203 |
| 10 | 9.1 | 45 |
| 11 | 0.4 | 2 |
| 12 | 1.2 | 6 |
| 13 | 0.8 | 4 |
| 14 | 2.2 | 11 |
| 15 | 4.9 | 24 |

「家族」(79.1%)、「友人、知人」(41.3%)の順に回答割合が高い。一方で「相談する人がいない」(4.9%)との回答は、1割に満たない。

2 近隣住民との関わり・地域活動について

- 問10** 普段、近所の人との程度のお付き合いをしていますか。
- 1 何か困ったことがあれば、助け合う。
 - 2 たまに訪問し合う。
 - 3 立ち話をする程度
 - 4 挨拶をする程度
 - 5 ほとんど付き合いがない。
 - 6 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 13.8 | 68 |
| 2 | 4.3 | 21 |
| 3 | 24.6 | 121 |
| 4 | 43.5 | 214 |
| 5 | 8.9 | 44 |
| 6 | 4.9 | 24 |

「挨拶をする程度」(43.5%)、「立ち話をする程度」(24.6%)の順に回答割合が高い。一方で「ほとんど付き合いがない」(8.9%)との回答割合は、1割に満たない。

【問10で「5 ほとんど付き合いがない。」を選んだ人のみ回答】

問11 近所付き合いがあまりない理由は、何ですか。(複数回答可)

- 1 仕事などで家を空けることが多く、知り合う機会がない。
- 2 近所付き合いは、わずらわしいので避けている。
- 3 近所付き合いをしたいと思うが、つい消極的になってしまう。
- 4 近所付き合いをしたいが、仲間に入れてもらえない。
- 5 普段留守の家が多く、近所付き合いがほとんどない所である。
- 6 近くに家がなくて、近所付き合いがしたくてもできない。
- 7 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 59.1 | 26 |
| 2 | 36.4 | 16 |
| 3 | 34.1 | 15 |
| 4 | 4.5 | 2 |
| 5 | 36.4 | 16 |
| 6 | 0.0 | 0 |
| 7 | 43.2 | 19 |

「仕事などで家を空けることが多く、知り合う機会がない。」(59.1%)、「普段留守の家が多く近所付き合いがほとんどない所である。」(36.4%)、「近所付き合いは、わずらわしいので避けている。」(36.4%)の順に回答割合が高い。「近くに家がなくて、近所付き合いがしたくてもできない。」を回答した人はいなかった。

問12 あなたやあなたの家族が困った時に嬉しかった近所の方の手助けは、何でしたか。(複数回答可)

- 1 安否確認の声かけ
- 2 近場への外出(買物や通院)の付き添い
- 3 食事の手配、調理の手伝い
- 4 掃除の手伝い
- 5 子どもの預かり・外遊びの見守り
- 6 気になることがあったときの通報
- 7 病気やけがなどの緊急時の手助け
- 8 相談ごとの相手
- 9 話し相手
- 10 ゴミ出し
- 11 庭木の手入れや草取り
- 12 高齢者などの見守り
- 13 災害時や避難時の手助け
- 14 その他
- 15 特にはなかった。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 12.2 | 57 |
| 2 | 3.0 | 14 |
| 3 | 1.9 | 9 |
| 4 | 3.4 | 16 |
| 5 | 6.0 | 28 |
| 6 | 6.2 | 29 |
| 7 | 5.4 | 25 |
| 8 | 7.3 | 34 |
| 9 | 17.2 | 80 |
| 10 | 2.8 | 13 |
| 11 | 6.7 | 31 |
| 12 | 4.3 | 20 |
| 13 | 1.9 | 9 |
| 14 | 2.6 | 12 |
| 15 | 53.9 | 251 |

「話し相手」(17.2%)、「安否確認の声かけ」(12.2%)の順に回答割合が高い。一方「特にはなかった。」(53.9%)との回答割合は、5割を超えている。

問13 地域の活動(地区社会福祉協議会、自治会、サロン、趣味、ボランティア活動等)を知っていますか。

- 1 はい。
- 2 いいえ。
- 3 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 68.7 | 338 |
| 2 | 28.5 | 140 |
| 3 | 2.8 | 14 |

問14 どのような地域活動に参加したことがありますか。また、参加していますか。(複数回答可)

- 1 清掃などの環境美化活動
- 2 花壇の管理や花いっぱい運動
- 3 ふれあい・いきいきサロンなどの健康づくり活動
- 4 敬老会などの敬老行事
- 5 街頭指導などの交通安全活動(防犯パトロールや子ども見守りを含む。)
- 6 消火訓練などの防災活動や自主防災組織への参加
- 7 各種スポーツ大会、スポーツクラブの活動
- 8 盆踊りや文化活動
- 9 子ども会などの青少年育成活動
- 10 趣味などのサークルやクラブ活動
- 11 子育てなどのサークルやクラブ活動
- 12 地域活動団体への参加(老人クラブ、婦人会、消防団など)
- 13 高齢者や障がい者などへの声かけ、手助け
- 14 健康づくり活動
- 15 その他
- 16 参加していない。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 52.2 | 257 |
| 2 | 6.1 | 30 |
| 3 | 4.5 | 22 |
| 4 | 9.1 | 45 |
| 5 | 6.1 | 30 |
| 6 | 6.1 | 30 |
| 7 | 13.6 | 67 |
| 8 | 15.9 | 78 |
| 9 | 10.0 | 49 |
| 10 | 9.1 | 45 |
| 11 | 4.1 | 20 |
| 12 | 11.2 | 55 |
| 13 | 4.7 | 23 |
| 14 | 3.3 | 16 |
| 15 | 2.8 | 14 |
| 16 | 29.1 | 143 |

「清掃などの環境美化活動」(52.2%)、「盆踊りや文化活動」(15.9%)の順に回答割合が高い。一方で「参加していない。」(29.1%)との回答割合は、3割に満たない。

【問14で「16 参加していない。」を選んだ人のみ回答】

問15 参加されていない理由を教えてください。(複数回答可)

- 1 興味ある行事、イベントがないから

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 18.2 | 26 |

- 2 行事等の情報が入りにくいから
- 3 時間的な余裕がないから
- 4 関心がないから
- 5 人との関係をあまり持ちたくないから
- 6 知らない人ばかりで参加しにくいから
- 7 地域の行事は、自分には関係ないから
- 8 その他

| | | |
|---|------|----|
| 2 | 8.4 | 12 |
| 3 | 41.3 | 59 |
| 4 | 28.0 | 40 |
| 5 | 10.5 | 15 |
| 6 | 21.7 | 31 |
| 7 | 3.5 | 5 |
| 8 | 12.6 | 18 |

「時間的な余裕がないから」（41.3%）、「関心がないから」（28.0%）の順に回答割合が高い。一方で「地域の行事は、自分には関係ないから」（3.5%）、「行事等の情報が入りにくいから」（8.4%）との回答割合は、1割に満たない。

問16 地域の活動や行事がもっと活発に行われるようにしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。（複数回答可）

- 1 住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係を作る。
- 2 挨拶ができる顔見知り関係を作る。
- 3 新築、マンション入居など、新たに住む人との関係作りを強化する。
- 4 地区社協、町内会、自治会、子ども会、老人クラブや婦人会等の活動を活発にする。
- 5 小学校、中学校など、学校教育と住民の交流やつながりを深める。
- 6 地元の事業者など、事業者とのつながりを深める。
- 7 交流の機会となる地域の行事を増やしたり、充実を図ったりする。
- 8 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 41.1 | 202 |
| 2 | 49.0 | 241 |
| 3 | 8.3 | 41 |
| 4 | 14.6 | 72 |
| 5 | 15.7 | 77 |
| 6 | 6.5 | 32 |
| 7 | 18.5 | 91 |
| 8 | 5.9 | 29 |

「挨拶ができる顔見知り関係を作る。」（49.0%）、「住民同士が困ったときに、今以上に助け合える関係を作る。」（41.1%）の順に回答割合が高い。一方で「地元の事業者など、事業者とのつながりを深める。」（6.5%）、「新築、マンション入居など、新たに住む人との関係づくりを強化する。」（8.3%）の回答割合は、1割に満たない。

問17 お住まいの地域や周辺環境について、どのように思いますか。

| ①～⑮の項目について、あなたの気持ちに近い答えの番号をそれぞれ1つ選んで○をしてください。（数値の単位は、%、人） | 1 そう 思う。 | 2 う えど 。ば ち そ ら う か 思 と い | 3 わ あ な ま い り 。 そ う 思 | 4 全 く 思 わ な い 。 | 5 分 か ら な い 。 |
|---|----------------|--|---|--------------------------------------|---------------------------------|
| ① 住んでいる地域に愛着を感じる。 | 38.41 (189) | 35.56 (175) | 15.44 (76) | 2.43 (12) | 5.08 (25) |
| ② 高齢者や障がい者、子ども、外国人などみんなが住みやすい。 | 7.92 (39) | 28.86 (142) | 35.77 (176) | 8.53 (42) | 15.04 (74) |
| ③ 高齢者福祉施設や高齢者福祉サービスが充実している。 | 4.06 (20) | 22.76 (112) | 35.16 (173) | 10.56 (52) | 23.98 (118) |
| ④ 高齢者が憩える施設や広場などが充実している。 | 2.84 (14) | 15.24 (75) | 41.05 (202) | 14.83 (73) | 22.35 (110) |
| ⑤ 障害者福祉施設や障害者福祉サービスが充実している。 | 3.45 (17) | 13.82 (68) | 36.78 (181) | 10.77 (53) | 31.5 (155) |
| ⑥ 障がい者が安心して使用できる施設や広場などが充実している。 | 2.43 (12) | 9.34 (46) | 37.8 (186) | 16.86 (83) | 29.87 (147) |
| ⑦ 病院や診療所など医療施設が充実している。 | 7.72 (38) | 32.92 (162) | 32.52 (160) | 16.26 (80) | 6.3 (31) |
| ⑧ 公共施設の利用が便利である。 | 4.67 (23) | 21.34 (105) | 38.61 (190) | 20.73 (102) | 10.77 (53) |
| ⑨ 買物などの日常生活が便利である。 | 17.68 (87) | 34.14 (168) | 22.35 (110) | 19.71 (97) | 3.04 (15) |
| ⑩ 地域活動やボランティア活動が活発である。 | 2.43 (12) | 20.12 (99) | 38.41 (189) | 11.17 (55) | 24.79 (122) |
| ⑪ 近所付き合いや助け合いなど近隣住民との関係が良好である。 | 10.77 (53) | 40.85 (201) | 28.04 (138) | 7.31 (36) | 10.16 (50) |
| ⑫ 道路や公共交通機関（鉄道、バス）が充実している。 | 4.87 (24) | 12.8 (63) | 38.21 (188) | 35.77 (176) | 4.87 (24) |
| ⑬ 図書館などの学習施設が充実している。 | 4.06 (20) | 15.85 (78) | 35.36 (174) | 28.45 (140) | 12.6 (62) |
| ⑭ グラウンドや体育館などのスポーツ施設が充実している。 | 5.08 (25) | 28.04 (138) | 29.47 (145) | 20.12 (99) | 13.41 (66) |
| ⑮ 子どもの遊び場や公園などが充実している。 | 4.67 (23) | 20.32 (100) | 34.34 (169) | 24.59 (121) | 12.19 (60) |
| ⑯ 静けさや緑が多いなど環境が良好である。 | 28.04 (138) | 43.49 (214) | 16.86 (83) | 4.26 (21) | 3.45 (17) |
| ⑰ 治安がよく、安心して住める。 | 26.21 (129) | 51.82 (255) | 12.19 (60) | 1.62 (8) | 4.67 (23) |
| ⑱ 防災対策が充実しており、安心して住める。 | 6.5 (32) | 34.34 (169) | 33.33 (164) | 5.69 (28) | 16.05 (79) |

「そう思う。」の回答割合が高いのは、「住んでいる地域に愛着を感じる。」（38.4%）、「静けさや緑が多いなど環境が良好である。」（28.0%）、一方で「全く思わない。」の回答割合が低いのは、「道路や公共交通機関（鉄道、バス）が充実している。」（35.8%）、「図書館などの学習施設が充実している。」（28.5%）となっている。

問18 住んでいる地域(各自治会の範囲)の問題について、話し合いの場や機会がありますか。

- 1 話し合いの場や機会があり、参加している。
- 2 話し合いの場や機会があるが、参加していない。
- 3 話し合いの場や機会がない。
- 4 話し合いの場や機会があるのか分からない。
- 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 26.2 | 129 |
| 2 | 25.0 | 123 |
| 3 | 14.4 | 71 |
| 4 | 31.7 | 156 |
| 5 | 2.6 | 13 |

「話し合いの場や機会があるのか分からない。」(31.7%)の回答割合が最も高い。一方で「話し合いの場や機会がない。」(14.4%)との回答割合は、1割を超えている。

3 地域での支えあいについて

問19 地域の中で起きている身近な生活の課題について、住民同士が自主的に支えあったり、助け合いをすることは必要だと思いますか。

- 1 とても必要だと思う。
- 2 ある程度必要だと思う。
- 3 あまり必要だと思わない。
- 4 全く必要だと思わない。
- 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 29.3 | 144 |
| 2 | 63.2 | 311 |
| 3 | 5.9 | 29 |
| 4 | 0.8 | 4 |
| 5 | 0.8 | 4 |

「ある程度必要だと思う。」(63.2%)、「とても必要だと思う。」(29.3%)の順に回答割合が高い。一方で「全く必要だと思わない。」(0.8%)、「あまり必要だと思わない。」(5.9%)との回答割合は、1割未満となっている。

問20 今の地域で住み続けるために、あればいいと思う地域での手助けは、どのようなものですか。(複数回答可)

- 1 安否確認の声かけ
- 2 買い物の手伝い
- 3 ゴミ出し
- 4 庭木の手入れや草取り
- 5 子供の一時預かりや送迎の手助け
- 6 福祉情報の提供や困りごとの相談相手
- 7 話し相手
- 8 災害時や避難時の手助け
- 9 お弁当の配食や食事の手配
- 10 掃除の手伝い
- 11 通院などの外出の手伝い
- 12 高齢者などの見守り
- 13 その他
- 14 特にない。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 39.0 | 192 |
| 2 | 15.4 | 76 |
| 3 | 10.4 | 51 |
| 4 | 16.1 | 79 |
| 5 | 8.5 | 42 |
| 6 | 19.3 | 95 |
| 7 | 13.4 | 66 |
| 8 | 45.1 | 222 |
| 9 | 10.0 | 49 |
| 10 | 5.7 | 28 |
| 11 | 17.5 | 86 |
| 12 | 27.6 | 136 |
| 13 | 2.2 | 11 |
| 14 | 18.5 | 91 |

「災害時や避難時の手助け」(45.1%)、「安否確認の声かけ」(39.0%)の順に回答割合が高い。一方で「掃除の手伝い」(5.7%)、「子どもの一時預かりや送迎の手助け」(8.5%)との回答割合は、1割未満となっている。

問21 近所に高齢者、障がいを持っている人、子育てなどで困っている人がいたときに、あなたができる手助けは、何ですか。(複数回答可)

- 1 安否確認の声かけ
- 2 買い物の手伝い
- 3 ゴミ出し
- 4 庭木の手入れや草取り
- 5 子供の一時預かりや送迎の手助け
- 6 福祉情報の提供や困りごとの相談相手
- 7 災害時や避難時の手助け
- 8 話し相手
- 9 お弁当の配食や食事の手配
- 10 掃除の手伝い
- 11 通院などの外出の手伝い
- 12 高齢者などの見守り
- 13 その他
- 14 できることはない。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 53.5 | 263 |
| 2 | 17.1 | 84 |
| 3 | 23.0 | 113 |
| 4 | 10.0 | 49 |
| 5 | 7.3 | 36 |
| 6 | 6.1 | 30 |
| 7 | 28.3 | 139 |
| 8 | 30.7 | 151 |
| 9 | 3.9 | 19 |
| 10 | 7.9 | 39 |
| 11 | 8.9 | 44 |
| 12 | 17.7 | 87 |
| 13 | 1.4 | 7 |
| 14 | 20.5 | 101 |

「安否確認の声かけ」(53.5%)、「話し相手」(30.7%)の順に回答割合が高い。一方で「できることはない。」(20.5%)との回答割合は、2割を超えた。

【問21で「14 できることはない。」を選んだ人のみ回答】

問22 できることはないとは回答された主な理由は、何ですか。（複数回答可）

- 1 おせっかいと思われるから
- 2 家族の理解が得られないから
- 3 健康や体力に自信がないから
- 4 人間関係のトラブルや事故が不安だから
- 5 福祉サービスなどで行政が助ければ良いことだから
- 6 どうすれば良いか（何をしたら良いか）分からないから
- 7 その家庭の問題なので、家族や親戚の中で解決すべきだと思うから
- 8 時間がないから（仕事、家事、育児、介護をする家族がいるなど）
- 9 関心がないから
- 10 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 23.8 | 24 |
| 2 | 3.0 | 3 |
| 3 | 42.6 | 43 |
| 4 | 30.7 | 31 |
| 5 | 12.9 | 13 |
| 6 | 18.8 | 19 |
| 7 | 11.9 | 12 |
| 8 | 21.8 | 22 |
| 9 | 2.0 | 2 |
| 10 | 11.9 | 12 |

「健康や体力に自信がないから」（42.6%）、「人間関係のトラブルや事故が不安だから」（30.7%）の順に回答割合が高い。一方で「関心がないから」（2.0%）、「家族の理解が得られないから」（3.0%）との回答割合は、1割未満となっている。

4 ボランティア活動について

問23 ボランティア活動（自治体や地域を問わない。）に参加してみたいと思いませんか。（〇は、いくつでも）

- 1 現在参加している。
- 2 今後積極的に参加したい。
- 3 誘われたら参加したい。
- 4 興味はあるが時間がない。
- 5 興味がない。
- 6 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 10.8 | 53 |
| 2 | 1.2 | 6 |
| 3 | 21.5 | 106 |
| 4 | 30.9 | 152 |
| 5 | 26.4 | 130 |
| 6 | 9.1 | 45 |

「興味はあるが時間がない。」（30.9%）、「興味がない。」（26.4%）の順に回答割合が高い。一方で「今後積極的に参加したい。」（1.2%）、「現在参加している。」（10.8%）との回答割合は、1割となっている。

【問23で「1 現在参加している。」「2 今後積極的に参加したい。」「3 誘われたら参加したい。」を選んだ人のみ回答】

問24 どれくらいの規模で活動していますか。又は活動してみたいと思いませんか。（複数回答可）

- 1 個人で活動
- 2 家族で活動
- 3 友人、仲間とグループで活動
- 4 地域のグループで活動
- 5 企業、団体などで活動
- 6 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 27.3 | 45 |
| 2 | 9.7 | 16 |
| 3 | 30.3 | 50 |
| 4 | 47.9 | 79 |
| 5 | 12.7 | 21 |
| 6 | 6.7 | 11 |

「地域のグループで活動」（47.9%）、「友人、仲間とグループで活動」（30.3%）の順に回答割合が高い。一方で「家族で活動」（9.7%）、「企業、団体などで活動」（12.7%）との回答割合は、1割程度となっている。

【問23で「1 現在参加している。」「2 今後積極的に参加したい。」「3 誘われたら参加したい。」を選んだ人のみ回答】

問25 どのような活動をしていますか。又は活動してみたいですか。（複数回答可）

- 1 在宅高齢・障がい者に対する活動
- 2 健康づくりに関する活動
- 3 イベントなどでの活動
- 4 防犯に関する活動
- 5 フードバンクへの協力（食材の提供）
- 6 防災・災害ボランティア活動
- 7 子育て支援に関する活動
- 8 生涯学習に関する活動
- 9 社会福祉施設などでの活動
- 10 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 13.3 | 22 |
| 2 | 32.7 | 54 |
| 3 | 41.8 | 69 |
| 4 | 12.7 | 21 |
| 5 | 12.1 | 20 |
| 6 | 25.5 | 42 |
| 7 | 20.0 | 33 |
| 8 | 16.4 | 27 |
| 9 | 9.7 | 16 |
| 10 | 10.9 | 18 |

「イベントなどでの活動」（41.8%）、「健康づくりに関する活動」（32.7%）の順に回答割合が高い。一方で「社会福祉施設などでの活動」（9.7%）、「フードバンクへの協力（食材の提供）」（12.1%）との回答割合は、1割程度となっている。

【問23で「1 現在参加している。」「2 今後積極的に参加したい。」「3 誘われたら参加したい。」を選んだ人のみ回答】

問26 どのくらいの頻度で活動していますか。又は活動したいと考えますか。

- 1 毎週活動
 2 毎月活動
 3 時々活動
 4 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 9.7 | 16 |
| 2 | 20.6 | 34 |
| 3 | 66.7 | 110 |
| 4 | 3.0 | 5 |

「時々活動」(66.7%)、「毎月活動」(20.6%)の順に回答割合が高い。一方で「毎週活動」(9.7%)の回答割合は、1割未満となっている。

5 心配ごと・困りごとがある人への必要な支援について

問27 「成年後見制度」について知っていますか。

- 1 自身又は家族が利用している。
 2 利用していないが、制度の内容を知っている。
 3 聞いたことはあるが、内容までは知らない。
 4 聞いたことがない。
 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 1.0 | 5 |
| 2 | 29.7 | 146 |
| 3 | 41.1 | 202 |
| 4 | 24.8 | 122 |
| 5 | 3.5 | 17 |

「聞いたことはあるが、内容までは知らない。」(41.1%)、「利用していないが制度の内容を知っている。」(29.7%)の順に回答割合が高い。一方で「自身又は家族が利用している。」(1.0%)との回答は1割未満となっている。

問28 将来、障がいや認知症などで判断能力が低下した際、困ることは、何だと思いますか。また、成年後見制度を利用するようになった際に、支援してほしいことは、何だと考えますか。(複数回答可)

- 1 不動産に関すること。
 2 預貯金、保険、年金などに関すること。
 3 生活費など日々の支払いに関すること。
 4 医療、介護や福祉サービスの手続きに関すること。
 5 相続に関すること。
 6 その他
 7 分からない。

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 25.2 | 124 |
| 2 | 52.0 | 256 |
| 3 | 51.0 | 251 |
| 4 | 57.7 | 284 |
| 5 | 24.4 | 120 |
| 6 | 2.4 | 12 |
| 7 | 12.6 | 62 |

「医療、介護や福祉サービスの手続きに関すること。」(57.7%)、「生活費など日々の支払いに関すること。」(51.0%)の順に回答割合が高い。一方で「分からない。」(12.6%)との回答割合は、1割となっている。

問29 社会福祉協議会が行っている「地域福祉権利擁護事業」について知っていますか。

- 1 自身又は家族が利用している。
 2 利用していないが、制度の内容を知っている。
 3 聞いたことはあるが、内容までは知らない。
 4 聞いたことがない。
 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 0.6 | 3 |
| 2 | 9.3 | 46 |
| 3 | 24.6 | 121 |
| 4 | 62.4 | 307 |
| 5 | 3.0 | 15 |

「聞いたことがない。」(62.4%)、「聞いたことはあるが、内容までは知らない。」(24.6%)の順に回答割合が高い。一方で「自身又は家族が利用している。」(0.6%)、「利用していないが、制度の内容を知っている。」(9.3%)との回答割合は、1割未満となっている。

問30 「あいサポート運動」を知っていますか。

- 1 知っている。
 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない。
 3 知らない。
 4 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 3.7 | 18 |
| 2 | 18.3 | 90 |
| 3 | 74.2 | 365 |
| 4 | 3.9 | 19 |

「知らない。」(74.2%)、「聞いたことはあるが、内容までは知らない。」(18.3%)の順で回答割合が高い。一方で「知っている。」(3.7%)との回答割合は、1割未満となっている。

問31 あいさぽーター研修等あいサポート運動に係る講座や教室に参加したことは、ありますか。

- 1 参加したことがある。
- 2 誘われたら参加したい。
- 3 興味がない。
- 4 今後積極的に参加したいと思う。
- 5 興味はあるが時間がない。
- 6 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 0.8 | 4 |
| 2 | 15.7 | 77 |
| 3 | 39.2 | 193 |
| 4 | 1.4 | 7 |
| 5 | 33.9 | 167 |
| 6 | 8.9 | 44 |

「興味がない。」(39.2%)、「興味はあるが時間がない。」(33.9%)の順に回答割合が高い。一方で「参加したことがある。」(0.8%)、「今後積極的に参加したいと思う。」(1.4%)との回答割合は、1割未満となっている。

問32 障がい者スポーツに興味がありますか。又は参加したことがありますか。

- 1 参加したことがある。
- 2 今後積極的に参加したいと思う。
- 3 誘われたら参加したい。
- 4 興味はあるが時間がない。
- 5 興味がない。
- 6 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 4.7 | 23 |
| 2 | 0.2 | 1 |
| 3 | 11.0 | 54 |
| 4 | 26.8 | 132 |
| 5 | 49.6 | 244 |
| 6 | 7.7 | 38 |

「興味がない。」(49.6%)、「興味はあるが時間がない。」(26.8%)の順に回答割合が高い。一方で「今後積極的に参加したいと思う。」(0.2%)、「参加したことがある。」(4.7%)との回答割合は、1割未満となっている。

【問32で「1 参加したことがある。」「2 今後積極的に参加したいと思う。」「3 誘われたら参加したい。」を選んだ人のみ回答】

問33 どんな障がい者スポーツをしましたか。又はしてみたいと思いますか。(複数回答可)

- 1 ボッチャ
- 2 グラウンドゴルフ
- 3 シットティングバレーボール
- 4 風船バレー
- 5 フライングディスク
- 6 カローリングボーリング
- 7 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 44.9 | 35 |
| 2 | 41.0 | 32 |
| 3 | 16.7 | 13 |
| 4 | 29.5 | 23 |
| 5 | 26.9 | 21 |
| 6 | 19.2 | 15 |
| 7 | 7.7 | 6 |

「ボッチャ」(44.9%)、「グラウンドゴルフ」(41.0%)の順に回答割合が高い。一方で「シットティングバレーボール」(16.7%)、「カローリングボーリング」(19.2%)との回答割合は、2割未満となっている。

問34 「障害者差別解消法」を知っていますか。

- 1 よく知っている。
- 2 ある程度知っている。
- 3 あまり知らない。
- 4 全く知らない。
- 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 2.8 | 14 |
| 2 | 12.6 | 62 |
| 3 | 34.6 | 170 |
| 4 | 45.1 | 222 |
| 5 | 4.9 | 24 |

「全く知らない。」(45.1%)、「あまり知らない。」(34.6%)の順に回答割合が高い。一方で「よく知っている。」(2.8%)、「ある程度知っている。」(12.6%)との回答割合は、1割となっている。

【問34で「1 よく知っている。」を選んだ人のみ回答】

問35 どのように「障害者差別解消法」のことを知りましたか。(複数回答可)

- 1 柳井市のホームページ
- 2 テレビ、ラジオ
- 3 民生委員・児童委員
- 4 家族、友人、知人など
- 5 サークルやクラブなど
- 6 インターネット
- 7 新聞などの広報誌
- 8 福祉員、福祉関係事務所の職員
- 9 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 28.6 | 4 |
| 2 | 57.1 | 8 |
| 3 | 14.3 | 2 |
| 4 | 14.3 | 2 |
| 5 | 0.0 | 0 |
| 6 | 50.0 | 7 |
| 7 | 35.7 | 5 |
| 8 | 14.3 | 2 |
| 9 | 28.6 | 4 |

「テレビ、ラジオ」(57.1%)、「インターネット」(50.0%)の順に回答割合が高い。一方で「サークルやクラブなど」と回答した人は、いなかった。

問36 自身を含め、あなたの御家族にひきこもり状態の方はおられますか。

- 1 いる。
 2 いない。
 3 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 4.9 | 24 |
| 2 | 90.0 | 443 |
| 3 | 5.1 | 25 |

「いない。」(90.0)との回答割合が最も高い。

【問36で「1 いる。」を選んだ人のみ回答】

問37 その方の年齢について。

- 1 10代 6 60代
 2 20代 7 70代
 3 30代 8 80代
 4 40代 9 90代以上
 5 50代 10 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) | | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|----|--------|---------|
| 1 | 8.3 | 26 | 6 | 8.3 | 2 |
| 2 | 16.7 | 47 | 7 | 4.2 | 1 |
| 3 | 20.8 | 58 | 8 | 4.2 | 1 |
| 4 | 20.8 | 59 | 9 | 0.0 | 0 |
| 5 | 8.3 | 210 | 10 | 8.3 | 2 |

「30代」(20.8%)、「40代」(20.8%)の順に回答割合が高い。一方で「90代以上」との回答はなく、「70代」、「80代」(4.2%)となっている。

問38 ひきこもり状態の方にどのような支援を期待しますか。また、どのような支援をするのがいいと思いますか。(複数回答可)

- 1 当事者やその家族の相談相手
 2 相談先窓口や家族会等の情報提供
 3 当事者の居場所づくり
 4 就労、就学支援
 5 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 51.8 | 255 |
| 2 | 24.6 | 121 |
| 3 | 42.9 | 211 |
| 4 | 32.1 | 158 |
| 5 | 3.9 | 19 |

「当事者やその家族の相談相手」(51.8%)、「当事者の居場所づくり」(42.9%)の順に回答割合が高い。一方で「相談先窓口や家族会等の情報提供」(24.6%)、「就労、就学支援」(32.1%)の回答割合は、3割程度となっている。

問39 「生活困窮者自立支援制度」について知っていますか。

- 1 自身又は家族が利用している。
 2 利用していないが、制度の内容を知っている。
 3 聞いたことはあるが、内容までは知らない。
 4 聞いたことがない。
 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 1.2 | 6 |
| 2 | 12.0 | 59 |
| 3 | 48.8 | 240 |
| 4 | 33.5 | 165 |
| 5 | 4.5 | 22 |

「聞いたことはあるが、内容までは知らない。」(48.8%)、「聞いたことがない。」(33.5%)の順に回答割合が高い。一方で「自身又は家族が利用している。」(1.2%)「利用していないが制度の内容を知っている。」(12.0%)との回答割合は、1割となっている。

問40 再犯の防止等の推進に関する法律(再犯防止推進法)について知っていますか。(複数回答可)

- 1 よく知っている。
 2 ある程度知っている。
 3 あまり知らない。
 4 全く知らない。
 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 1.2 | 6 |
| 2 | 14.8 | 73 |
| 3 | 44.5 | 219 |
| 4 | 35.4 | 174 |
| 5 | 4.1 | 20 |

「あまり知らない。」(44.5%)、「全く知らない。」(35.4%)の順に回答割合が高い。一方で「よく知っている。」(1.2%)、「ある程度知っている。」(14.8%)の回答割合は、1割となっている。

問41 罪を犯した人が地域に戻る場合、その人に対してどのような再犯防止の支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- 1 住まいの確保
 2 就労支援
 3 経済的支援
 4 地域住民の声かけ・関わり
 5 罪を犯した人に対する支援ネットワーク(病院・学校・福祉施設や民間団体等)
 6 分からない。
 7 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 29.9 | 147 |
| 2 | 50.2 | 247 |
| 3 | 22.0 | 108 |
| 4 | 22.8 | 112 |
| 5 | 32.9 | 162 |
| 6 | 26.4 | 130 |
| 7 | 2.0 | 10 |

「就労支援」(50.2%)、「罪を犯した人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設や民間団体等)」(32.9%)の順に回答割合が高い。一方で「経済的支援」(22.0%)、「地域住民の声かけ・関わり」(22.8%)の回答割合は、2割となっている。

6 情報関連について

問4.2 福祉制度などの情報をどのようにして得ていますか。（複数回答可）

- 1 柳井市のホームページ
- 2 広報やない
- 3 インターネット
- 4 新聞、広告や地域の情報誌
- 5 民生委員・児童委員
- 6 福祉関係事業所の職員
- 7 サークルやクラブなど
- 8 周防ケーブルネットでの市政情報番組「柳井市政だより」
- 9 テレビ、ラジオ
- 10 市からのお知らせ（チラシ、パンフレット）
- 11 自治会の回覧
- 12 家族、友人、知人
- 13 ほとんど得る機会がない。
- 14 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 16.7 | 82 |
| 2 | 61.2 | 301 |
| 3 | 14.0 | 69 |
| 4 | 12.2 | 60 |
| 5 | 1.4 | 7 |
| 6 | 2.8 | 14 |
| 7 | 1.4 | 7 |
| 8 | 3.9 | 19 |
| 9 | 20.1 | 99 |
| 10 | 20.3 | 100 |
| 11 | 36.2 | 178 |
| 12 | 14.6 | 72 |
| 13 | 13.8 | 68 |
| 14 | 1.4 | 7 |

「広報やない」（61.2%）、「自治会の回覧」（36.2%）の順に回答割合が高い。一方「ほとんど得る機会がない。」（13.8%）との回答割合は、1割となっている。

7 柳井市の健康福祉施策に関する取組について

問4.3 誰もが生き生きと安心して地域で暮らし続けるために、柳井市の健康福祉施策としてどのような取組が重要だと思いますか。（複数回答可）

- 1 保健や福祉に関する情報提供を充実させる。
- 2 身近な場所で福祉に関する相談ができる窓口を増やす。
- 3 公共の場のバリアフリー化を進める（高齢者、障がい者及び乳幼児の生活に不便な障害物の除去、階段に併設したスロープやスペースの広いトイレの設置、視覚障がい者向けの点字の設置など）。
- 4 緊急時や災害時に地域の中で助け合う仕組みをつくる。
- 5 人権を守る制度（成年後見制度や地域福祉権利擁護事業など）の普及を図る。
- 6 地域活動・ボランティア活動の拠点を整備する。
- 7 地域活動・ボランティア活動を資金面で支援する。
- 8 地域での活動の中心となる人材を育てる。
- 9 障がいをもつ人の就労の支援をする。
- 10 サービスを提供する事業所を増やす。（高齢者、障がい者、子育て、介護）
- 11 健康づくり活動や健康教育を充実させる。
- 12 保健や福祉に関する関心が高められるような講座や行事を行う。
- 13 生活困窮者の自立支援に関する取組を充実させる。
- 14 現状のままでよい。
- 15 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 41.3 | 203 |
| 2 | 34.3 | 169 |
| 3 | 30.1 | 148 |
| 4 | 35.8 | 176 |
| 5 | 12.8 | 63 |
| 6 | 10.6 | 52 |
| 7 | 13.0 | 64 |
| 8 | 16.9 | 83 |
| 9 | 19.7 | 97 |
| 10 | 29.1 | 143 |
| 11 | 14.6 | 72 |
| 12 | 10.4 | 51 |
| 13 | 16.3 | 80 |
| 14 | 6.3 | 31 |
| 15 | 2.8 | 14 |

「保健や福祉に関する情報提供を充実させる。」（41.3%）、「緊急時や災害時に地域の中で助け合う仕組みを作る。」（35.8%）の順に回答割合が高い。一方で「現状のままでよい。」（6.3%）との回答割合は、1割に満たない。

8 地域福祉に関わる機関や団体、仕組について

問4.4 「柳井市社会福祉協議会」の活動について知っていますか。

- 1 よく知っている。
- 2 「柳井市社会福祉協議会」は、知っているが活動内容までは、知らない。
- 3 「柳井市社会福祉協議会」を知らない。
- 4 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 10.4 | 51 |
| 2 | 68.5 | 337 |
| 3 | 16.1 | 79 |
| 4 | 5.1 | 25 |

「柳井市社会福祉協議会は、知っているが活動内容までは、知らない。」（68.5%）との回答割合が最も高い。一方「柳井市社会福祉協議会を知らない。」（16.1%）の回答は、2割未満となっている。

問4.5 自地区（地域）の福祉員の活動内容（役割）を知っていますか。

- 1 よく知っている。
- 2 ある程度知っている。
- 3 あまり知らない。
- 4 全く知らない。
- 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 6.5 | 32 |
| 2 | 15.9 | 78 |
| 3 | 41.5 | 204 |
| 4 | 29.9 | 147 |
| 5 | 6.3 | 31 |

「あまり知らない。」（41.5%）、「全く知らない。」（29.9%）の順に回答割合が高い。一方「ある程度知っている。」（15.9%）、「よく知っている。」（6.5%）の回答割合は、1割となっている。

問46 あなたの地域に「地区社会福祉協議会」又は「地区社会福祉協議会と同様の団体」がありますか。

- 1 ある。
 2 ない。
 3 分からない。
 4 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 26.4 | 130 |
| 2 | 4.5 | 22 |
| 3 | 62.8 | 309 |
| 4 | 6.3 | 31 |

「分からない。」(62.8%)、「ある。」(26.4%)の順に回答割合が高い。一方で、「ない。」(4.5%)との回答割合は、1割未満となっている。

【問46で「1 ある。」を選んだ人のみ回答】

問47 地区社会福祉協議会又は同様の団体の活動内容(役割)を知っていますか。

- 1 よく知っている。
 2 ある程度知っている。
 3 あまり知らない。
 4 全く知らない。
 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 13.8 | 18 |
| 2 | 43.1 | 56 |
| 3 | 35.4 | 46 |
| 4 | 6.2 | 8 |
| 5 | 1.5 | 2 |

「ある程度知っている。」(43.1%)、「あまり知らない。」(35.4%)の順に回答割合が高い。一方で、「全く知らない。」(6.2%)の回答割合は、1割未満となっている。

【問46で「2 ない。」を選んだ人のみ回答】

問48 自地区の民生委員・児童委員の活動内容(役割)を知っていますか。

- 1 よく知っている。
 2 ある程度知っている。
 3 あまり知らない。
 4 全く知らない。
 5 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 18.2 | 4 |
| 2 | 40.9 | 9 |
| 3 | 22.7 | 5 |
| 4 | 9.1 | 2 |
| 5 | 9.1 | 2 |

「ある程度知っている。」(40.9%)、「あまり知らない。」(22.7%)の順に回答割合が高い。一方で「全く知らない。」(9.1%)の回答割合は、1割未満となっている。

問49 あなたの地域で「地区社会福祉協議会」又は「地区社会福祉協議会と同様の団体」の組織を作る必要があると思いますか。

- 1 あると思う。
 2 ないと思う。
 3 分からない。
 4 無回答

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 21.5 | 106 |
| 2 | 7.5 | 37 |
| 3 | 61.8 | 304 |
| 4 | 9.1 | 45 |

「分からない。」(61.8%)、「あると思う。」(21.5%)の順に回答割合が高い。一方で「ないと思う。」(7.5%)の回答割合は、1割未満となっている。

問50 社会福祉協議会の福祉サービスや地域福祉活動の情報をどのように得ていますか。(複数回答可)

- 1 柳井市社会福祉協議会のホームページ
 2 柳井市社会福祉協議会 広報「柳井市社協だより」
 3 L I N E
 4 情報を得る方法を知らない。
 5 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|---|--------|---------|
| 1 | 8.1 | 40 |
| 2 | 57.3 | 282 |
| 3 | 0.8 | 4 |
| 4 | 28.3 | 139 |
| 5 | 2.8 | 14 |

「柳井市社会福祉協議会広報 「柳井市社協だより」」(57.3%)、「情報を得る方法を知らない。」(28.3%)の順に回答割合が高い。一方で「柳井市社会福祉協議会のホームページ」(8.1%)、「LINE」(0.8%)の回答割合は、1割未満となっている。

問51 今後、柳井市社会福祉協議会に力を入れて欲しい活動は、どれですか。（複数回答可）

- 1 地域での高齢者や子ども、障がい者の見守り
- 2 地域活動のための人材育成
- 3 活動やイベントを通じた地域交流を図る
- 4 子育て支援に関する仕組み
- 5 高齢者や障がい者のための生活援助サービス
- 6 高齢者や障がい者の社会参加・生きがいづくり
- 7 サロン等の介護予防に対する取組
- 8 地域で行われている活動のPR
- 9 地域での住民座談会
- 10 ボランティアセンターの充実や活動拠点の提供
- 11 福祉に関する研修、講座の実施
- 12 食糧支援等の支援活動
- 13 その他

| | 回答 (%) | 回答数 (人) |
|----|--------|---------|
| 1 | 45.5 | 224 |
| 2 | 22.2 | 109 |
| 3 | 14.0 | 69 |
| 4 | 23.6 | 116 |
| 5 | 38.6 | 190 |
| 6 | 24.4 | 12 |
| 7 | 8.3 | 41 |
| 8 | 16.5 | 81 |
| 9 | 5.5 | 27 |
| 10 | 9.8 | 48 |
| 11 | 8.9 | 44 |
| 12 | 11.6 | 57 |
| 13 | 4.1 | 20 |

「地域での高齢者や子ども、障がい者の見守り」（45.5%）、「高齢者や障がい者のための生活援助サービス」（38.6%）の順に回答割合が高い。一方で、「地域での住民座談会」（5.5%）、「サロン等の介護予防に対する取組」（8.3%）の回答割合は、1割未満となっている。

令和4年度 地域福祉の推進に関するアンケート結果報告書

柳井市健康福祉部社会福祉課

4 第Ⅲ期計画の成果

第Ⅲ期計画の主な成果は以下のとおりです。

活動目標1 地域の底力・教育力を高めよう（人づくり）

住民の日頃からの生きがいづくりや健康づくりなどをはじめ、福祉意識の高揚や福祉活動への住民参加の促進、福祉教育・人権教育の推進に取り組みました。

取組状況

- 子育てや食育に関する講座を実施しました。
（平成30年度 37回、令和元年度 29回、令和2年度 21回、令和3年度 18回）
- 生活習慣病予防のための教室を実施しました。
（平成30年度 65人、令和元年度 76人、令和2年度 33人、令和3年度 39人）
- 地域ごとに人権教育研修会を開催しました。

活動目標2 地域でつながり支えあおう（地域づくり）

地域における関係組織（団体、企業、福祉施設等）の相互連携の強化など、地域の住民や団体による安心して生活できる地域づくりを推進しました。

取組状況

- やない市民活動センターの利用の推進のために広報誌交流プラスを発行しました。
（年6回）
- やない市民活動センターの利用促進に取り組みました。
（令和元年度 118団体・3個人、令和2年度 114団体・3個人、令和3年度 119団体・3個人）

活動目標3 福祉サービスを利用しやすい環境をつくろう（環境づくり）

相談体制と情報提供体制の充実、安心して利用できる福祉サービスの提供、利用者の保護と支援に取り組みました。

取組状況

- 市は、無料法律相談を実施しました。
（平成30年度 85件、令和元年度 92件、令和2年度 65件、令和3年度 80件）

○健康相談の日（毎週月・水・金）、乳幼児健康相談・栄養相談（毎月1回）・こころの相談会（毎月1回）を実施しました。※こころの相談会：令和2年度廃止
（平成30年度 1,923人、令和元年度 1,983人、令和2年度 2,027人、令和3年度 1,307人）

○平成31年2月に子育て世代包括支援センター「やなでこ」を開設し、相談会を実施しました。

（令和元年度 438人、令和2年度 434人、令和3年度 446人）

○平成30年度より生活困窮世帯に対し、生活困窮者自立支援相談を実施しました。

（平成30年度 新規相談件数 38件、令和元年度 新規相談件数 28件、令和2年度 新規相談件数 79件・住居確保給付金 2件、令和3年度 新規相談件数 60件・住居確保給付金 2件）

活動目標4 安心・安全に暮らせるまちをつくろう（福祉のまちづくり）

防犯・防災に備える安全対策の充実や要援護者の支援体制の整備、生活交通手段の援助に取り組みました。

取組状況

○防災出前講座を実施しました。

（平成30年度 30回 931人、令和元年度 15回 345人、令和2年度 8回 150人、令和3年度 13回 388人）

○自主防災組織の結成促進と活動支援を行いました。

（平成30年度 自主防災組織 50組織 54自治会、令和元年度 57組織 61自治会、令和2年度 59組織 63自治会、令和3年度 64組織 72自治会）

○避難行動要支援者名簿の作成と制度の周知に努めました。

○予約制乗り合いタクシーの実施を行い、地域内交通の取組を行いました。

（日積（平成26.10～）、大島（令和2.10～）、伊陸、阿月（令和4.10～））

○高齢者福祉タクシー、障がい者（児）タクシーの助成を行いました。

（平成30年度 高齢者 697人・障がい者（児） 390人、令和元年度 高齢者 694人・障がい者（児） 359人、令和2年度 高齢者 648人・障がい者（児） 359人、令和3年度 高齢者 679人・障がい者（児） 364人）